

# SAGA 2024

国スポ・全障スポ

## SAGA-CITY



佐賀市大会報告書  
OFFICIAL REPORT

# SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

目次	1
開催概要	2
発刊にあたって(市長)	4
<b>写真編【準備・運営】</b>	<b>5</b>
広報・啓発活動	6
歓迎装飾	10
おもてなし	12
官学連携	16
学校訪問	18
ボランティア	20
総合案内所	22
<b>写真編【国スポ】</b>	<b>23</b>
総合開会式	24
体操(競技)	26
体操(新体操)	28
体操(トランポリン)	30
水泳(競泳)	32
水泳(飛込)	34
水泳(水球)	36
水泳(アーティスティックスイミング)	38
ローイング	40
サッカー	42
テニス	44
クレー射撃	46
ライフル射撃(25m)	48
ラグビーフットボール	50
バレーボール	52
フェンシング	54
ボウリング	56
カヌー(スプリント)	58
陸上競技	60
柔道	62
高等学校野球(硬式)	64
行幸啓・お成り	66
新しい大会の取り組み	68
学校観戦	70
スカットボール	72
ラダーゲッター	73
ロープ・ジャンプ・X	74
合気道	75
パークゴルフ	76
ビリヤード	77
総合閉会式	78
<b>写真編【全障スポ】</b>	<b>81</b>
開会式	82
陸上競技(身・知)	83
水泳(身・知)	84
バレーボール(身)	85
ボウリング(知)	86
ソーシャルフットボール	87
ウォーキングフットボール	88
閉会式	89
資料編	記録媒体

●国スポ・全障スポ、スローガン、愛称等



国民スポーツ大会

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするを目的に開催されています。



全国障害者スポーツ大会

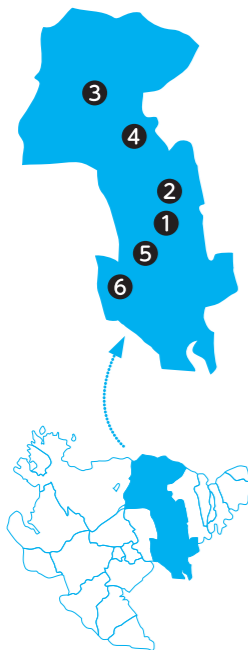
全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加を推進することを目的として開催されています。



〈愛称〉  
SAGA2024

〈メインメッセージ〉  
新しい大会へ。  
すべての人に、スポーツのチカラを。

●佐賀市開催競技の会場



- ①SAGAサンライズパーク  
〈SAGAスタジアム〉 総合開会式・開会式(障)・サッカー・陸上競技・陸上競技(障)  
〈セカスタ〉 サッカー  
〈ボールフィールド〉 サッカー・ラグビーフットボール  
〈テニスフィールド〉 テニス  
〈SAGAアリーナ〉 総合閉会式・閉会式(障)・体操(競技・新体操・トランポリン)・バレーボール・柔道・バレーボール(障)  
〈SAGAアクア〉 水泳(競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング)・水泳(障)  
〈SAGAプラザ〉 フェンシング
- ②佐賀市健康運動センター  
サッカー・ラグビー場  
サッカー
- ③佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場  
ローイング・カヌー(スプリント)
- ④佐賀県射撃研修センター  
クレー射撃
- ⑤ボウルアーガス  
ボウリング・ボウリング(障)
- ⑥佐賀県立森林公園テニスコート  
テニス  
さがみどりの森球場  
高等学校野球(硬式)

●佐賀市開催競技一覧

第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」

正式競技(会期前1回目実施競技)

競技名	種別	会場	9月														
			5木	6金	7土	8日	9月	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水		
体操	競技	全種別															
	トランポリン	男子・女子															
水泳	競泳	全種別															
	飛込	全種別															
	水球	少年男子・女子															
	アーティスティックスイミング	少年女子															
ローイング	全種別	佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場															

正式競技(会期前2回目実施競技)

競技名	種別	会場	9月												
			21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月			
サッカー	成年女子・少年女子	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム													
		SAGAサンライズパーク セカスタ													
	少年女子	佐賀市健康運動センターサッカー・ラグビー場													
テニス	少年男子・少年女子	SAGAサンライズパーク テニスフィールド													
	成年男子・成年女子	佐賀県立森林公園テニスコート													
体操	新体操	少年男子・少年女子													
クレー射撃	成年	佐賀県射撃研修センター													
ライフル射撃(25m)	成年男子	佐賀県警察学校													

正式・特別競技(本会期)

競技名	種別	会場	10月												
			6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火			
ラグビーフットボール	成年男子・女子・少年男子	SAGAサンライズパーク ボールフィールド													
バレーボール	成年女子	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ													
フェンシング	全種別	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ													
ボウリング	全種別	ボウルアーガス													
カヌー(スプリント)	全種別	佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場													
陸上競技	全種別	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム													
柔道	成年男子・女子・少年男子	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ													
高等学校野球(硬式)	-	さがみどりの森球場													

デモンストレーションスポーツ

競技名	会場	実施日
スカットボール	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ	7月7日(日)
ラダーゲッター		7月7日(日)
ロープ・ジャンプ・X		7月7日(日)
合気道		7月14日(日)
パークゴルフ	神水川パークゴルフ場	7月28日(日)
ビリヤード	ビリヤード session	8月4日(日)

第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024全障スポ」

正式競技

競技名	種別	会場	10月		
			26土	27日	28月
陸上競技	身体・知的	SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム			
水泳	身体・知的	SAGAサンライズパーク SAGAアクア			
バレーボール	身体(聴覚)	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ			
ボウリング	知的	ボウルアーガス			

オープン競技

競技名	会場	実施日
ソーシャルフットボール	SAGAサンライズパーク SAGAプラザ	4月13日(土)~14日(日)
ウォーキングフットボール	SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ	4月14日(日)

「SAGA2024国スポ・全障スポ」は、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインテーマに、本県では1976(昭和51)年以来、48年ぶりに開催され、選手・監督、競技団体をはじめとする関係各位のご尽力とご協力により、盛況のうちに全日程を終えることができました。大会に関わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

本市では、国スポ15競技、全障スポ4競技を開催し、期間中は約28万人の方に来場いただきました。

トップクラスの選手が見せる最高のパフォーマンスはもちろん、声援を力に躍動する姿、歓喜の涙を流す姿は、私たちに勇気と感動を与え、選手だけでなく、大会を支えるスタッフ、ボランティアや観客の皆様が一体となった盛り上がり「スポーツのチカラ」を実感する大会となりました。

本市は、全国からお越しになる皆様をお迎える「おもてなし」のコンセプトを「応援」として、「応援するまちになろう。佐賀市」を合言葉に、市民の皆さんと一緒に大会を盛り上げました。競技会場では、選手の皆さんから「応援がよく聞こえて涙が出るくらい嬉しかった」、「自分の力が100%以上出せた」という声を掛けていただきました。本市の応援の取り組みが、選手の皆さんを後押しできたことを本当に嬉しく思います。

また、国民体育大会から国民スポーツ大会へと変わる最初の大会となった今大会、新しい大会の取り組みとして、個人の活躍を称える「個人表彰」や、飲食を楽しみながら観戦することのできる「ナイトゲーム」に挑戦しました。

さらに、全天候型のおもてなし広場では、開催競技やバーチャルスポーツの体験、バルーン係留、名物を具材にした「応援おにぎり」の配布などの佐賀らしいおもてなしで、すべての人がスポーツの魅力やスポーツのもつチカラを感じることもできる大会となったのではないかと思います。

この報告書は、両大会の開催に向けた軌跡や、それを支えた多くの方々の活躍を未来へ伝えるために刊行するものです。多くの方にご覧いただき、大会の成功を誇りに感じていただくとともに、大会で生まれたエネルギーを、これからの佐賀のまちづくりや経済の好循環につなげていきたいと考えています。

両大会の開催に向けて、長きにわたりご尽力いただいたすべての皆様に改めて感謝申し上げます、発刊にあたっての挨拶といたします。

SAGA2024佐賀市実行委員会会長

佐賀市長 



体操(競技)少年男子の選手と一緒に(SAGAアリーナ)

SAGA  
2024  
国スポ・全障スポ  
SAGA-CITY

写真編【準備・運営】



フェンシングのデモンストレーション(GO!GO!駅スポ)

SAGA2024国スポ・全障スポの開催を広く周知し、市民の皆さんとともに大会を盛り上げるため、イベント開催やブース出展、市報さがやホームページなど各種メディアを使った情報発信を行いました。

●GO!GO!駅スポ(令和5年11月23日)

開催まで1年を切り、さらに機運を高めるキックオフイベントとして開催。元サッカー日本代表の中澤佑二さんと坂井市長とのトークセッション、佐賀市開催競技の体験などを行いました。



会場からはたくさんの質問が。笑いを交え、スポーツのチカラを感じたひとときでした



かっこよく、タックルに挑戦!



体全体を使ってバク転を体験

●SAGA2024歓迎イベント(令和6年10月4日)

総合開会式前夜に、サガ・ライトファンタジー点灯式、ダンス、ジャズ演奏などを行い全国からお越しの皆さんを歓迎しました。



会場の皆さんのカウントダウンでイルミネーション点灯!



ティーンズミュージカルSAGAによるダンス



会場には選手や視察員のほか、多くの市民も参加



イメージソング「Batons〜キミの夢が叶う時〜」も演奏され、大いに盛り上がりました

● イベント出展等

市内で開催されたイベントへのブース出展や、応援グッズの配布を行いました。ブースでは競技体験やオリジナル缶バッジ作り、光るうちわ作りなどを行い、楽しく大会をPRしました。



ローイング体験(佐賀国際バルーンフェスタ)



さき織り体験(500日前イベント)



ライフル射撃体験(サガテレビ春フェス2024)



缶バッジ作り(500日前イベント)



光るうちわ作り(栄の国まつり)

●映像

SNSや市内のデジタルサイネージ、ケーブルテレビなどで放映し、大会の機運醸成を図りました。



Ath-BEAT(アスピーート)  
(令和5年7月～順次公開)  
県内アスリートなどに協力してもらい、  
競技の魅力を伝える動画を制作しました



動画はこちら



応援メッセージ動画  
(令和6年5月公開)

市内のジュニアチームや  
高校生アスリート、自治会  
など、500人以上が選手  
への応援メッセージを伝  
える動画を制作しました



動画はこちら

●国スポミニアプリ

佐賀市公式スーパーアプリ内に、より分かりやすく手軽に大会情報を得られるミニアプリを作りました。佐賀市で開催する国スポ・全障スポ競技の日程や臨時駐車場の空き状況の確認、観覧申し込みが簡単にできるなど、利便性を高めました。



●SNS(インスタグラム)

準備期間から大会終了まで、イベントや装飾、開催中の競技紹介など、広く情報を発信しました。  
また市民や来佐する選手等を対象に投稿キャンペーンを実施し、大会の盛り上げや佐賀市の魅力発信を行いました。



**「#SAGA2024佐賀市で応援」  
Instagram投稿キャンペーン**

**投稿期間**  
2024.9.5(木)  
→ 10.28(月)

**応募方法**

- ・SAGA2024佐賀市実行委員会のInstagram (@sagacity2024) をフォロー
- ・「#SAGA2024佐賀市で応援」のハッシュタグをつけて投稿

入賞された方には、  
佐賀ゆかりの豪華賞品をプレゼント!

●その他



市報さがで国スポを連載



市議会でも佐賀市チームポロシャツを着用し、大会を盛り上げていただきました



佐賀駅・市営バスなどで応援ユニフォームを着用していただきました

# 歓迎装飾



サンライズストリートのバナーフラッグ

SAGA2024国スポ・全障スポの機運を高めるとともに、全国からの来訪者を歓迎するため、JR佐賀駅やサンライズストリートなどの街なか、競技会場などに装飾を施しました。

## ●街なか

市役所本庁や佐賀駅バスセンター、サンライズストリートなど多くの人が利用する場所を装飾しました。



市施設(94カ所)にのぼり旗を設置しました



開催200日前に佐賀駅バスセンターに横断幕等を設置しました



市内を走るバス2台を国スポデザインにラッピング



サンライズストリートのポケットパークにはフォトスポットも



花づくりボランティア団体と協力し、花壇やプランターを装飾



市役所本庁の懸垂幕



市役所本庁がカラフルな色合いに



JR佐賀駅サンライズ口には柱巻き装飾を



サンライズストリートの街路樹を市産材の木枠で装飾

## ●競技会場

のぼり旗や横断幕で会場を装飾したほか、記念撮影できるよう「SAGA」のモニュメントを設置しました。



記念にパシャリ!



会場に並ぶのぼり旗



横断幕で来場者をお出迎え



ピクトグラムと「はいチーズ!」



風にはためくフラッグガーランド



全国からの来訪者をお迎えし、大会をより楽しんでいただくため、おもてなしに取り組みました。

●SAGA2024国スポおもてなし広場

佐賀市文化会館で、アスリートトークショー、競技体験、特産品販売などを行いました。競技以外のお楽しみスポットとして、期間中約17,000人が来場しました。



佐賀牛や佐賀ラーメンなど、佐賀の名物を具にした「応援おにぎり」を配布しました



SAGAサンライズパークに向かう選手や来場者をお出迎え



オリンピックによるアスリートトークショーには、約1,100人が参加



バーチャルスポーツ体験



佐賀市で開催する14競技の体験を行いました



バルーンで、佐賀ならではのおもてなし



緑のフォトスポットは大人気!



総合開会式で配火された炬火を展示

●SAGA2024応援企画

本市のおもてなしのコンセプトは「応援」でした。事前に申し込みをした人にオリジナル応援ユニフォーム・応援グッズの配布、観覧席の確保を行いました。のべ3,000人以上に申し込みいただき、競技会場が青く染まりました。



第1弾



第2弾

●参加記念品

選手・監督に、スマホスタンドとメッセージカードをお渡ししました。スマホスタンドは、本市の伝統工芸品であり、「佐賀県指定伝統的地場産品」にも指定されている諸富家具製です。



●リハーサル大会

競技会場におもてなしブースを出展し、オリジナル缶バッジや銘菓の配布などを行いました。



焼きたて丸ぼうろのふるまい



応援メッセージを掲げたバルーンを係留



競技ごとにオリジナル缶バッジを配布



佐賀の思い出に



たくさんのアイデアを出しました

SAGA2024国スポ・全障スポを市民総ぐるみで盛り上げるため、市内の学校の皆さんと連携して取り組みました。

●SAGA2023のぼり旗の再活用

新型コロナウイルスによる大会延期に伴い、延期前に製作していたSAGA2023のぼり旗を再活用するため、佐賀県立ろう学校被服科の皆さんが「さき織り」の技法を使用したマガジンラックを提案してくださいました。マガジンラックの布地部分は、イベント等で来場者に織ってもらいました。完成品はSAGA2024国スポおもてなし広場のスポーツ漫画コーナーに設置しました。



旗を細く裂き、縦糸に通して織る



やりはじめると夢中になります



織り上げた布地を張って完成

●カウントダウンボードの製作

市内2校の高校生がSAGA2024開催までの残日数を表示するカウントダウンボードを製作しました。



令和4年1月に市役所本庁でお披露目しました



北陵高等学校(左:佐賀駅バスセンター、右:佐賀市青少年センター)



佐賀工業高等学校(市役所本庁)

●懸垂幕

佐賀北高等学校芸術科の生徒が佐賀市役所本庁に掲出する懸垂幕のデザインを制作しました。



長さ8mの大きな原画が完成しました



令和4年7月、坂井市長と一緒に設置しました



SAGA2024盛り上げるぞー!

SAGA2024国スポ・全障スポの認知度や参加意欲等の向上を図るため、佐賀県と合同で市内の学校を訪問し、児童・生徒を対象に講話と競技体験を行いました。



SAGA2024クイズ。さあ、答えられるかな?



ボッチャを体験。狙うは白い玉!



どっちが勝ったかな?



得点穴にボールを入れて競うスカットボール



バウンドテニスのルールを教わります



車いすを体験しながらのバス。うまく捕れるかな?



選手を囲んで記念撮影



大会を応援しています!



のべ400人以上のボランティアの皆さんに、競技会の運営を支えていただきました。

● 広報・市民運動ボランティア

イベントや情報発信、応援グッズの配布などで大会を盛り上げました。



競技会場で応援グッズやチラシを配布



仲間と一緒にがんばるぞ!



ケーブルテレビの番組に出演し、ボランティア募集をPR



イベントでは来場者に体験を通じて大会を周知

● 競技会運営ボランティア

競技会場で弁当・ドリンクの配布などを行い、運営をサポートしました。



関係者に弁当を配布。空箱の回収やごみの分別など、たくさんの業務をお願いしました



選手などにドリンクを配布。選手との会話が弾みます



笑顔が一番のおもてなし



# 総合案内所



手話で対応するスタッフ

観戦や交通、観光の案内などを行う総合案内所を、本市の主要駅であるJR佐賀駅と、最多競技が開催されるSAGAサンライズパークに設置しました。(本会期中は佐賀県と合同)

SAGA  
2024  
国スポ・全障スポ  
SAGA-CITY

## 写真編【国スポ】

### ●JR佐賀駅



### ●SAGAサンライズパーク





各県選手団はご当地アイテムやポーズでアピールしました

## 第78回国民スポーツ大会 「SAGA2024国スポ」総合開会式 10月5日・SAGAスタジアム

国民体育大会から改称し「新しい大会」として迎える初めての大会。全国から集まった約3,000人の選手団が、大会初となるパレード形式で華やかに入場しました。佐賀県での開催は1976(昭和51)年の若楠国体以来、48年ぶり。新型コロナウイルスの影響で、当初の予定より一年延期して開かれました。総合開会式には、約9,000人の県民や選手団や式典の出演者、ボランティアを合わせ、約16,000人が参加しました。



佐賀県提供

選手団に拍手を送られる天皇后両陛下



佐賀県選手団の入場



大会のシンボルとなる炬火は「する」「観る」「支える」の代表者から、点灯者の元SAGA久光スプリングスの石井優希さんにつながれ、佐賀市出身のデザイナー吉岡徳仁さんが手がけたガラスの炬火台に点火



佐賀市への配火を担った中川きららさん



青森県を先頭に若楠国体以降の開催順で入場。佐賀県は47番目



柔道の近藤隼斗選手とラグビーの堤ほの花選手が選手宣誓。「ふるさとへの代表としての誇りを胸に、最後まで力の限りプレーする」と誓いました



総合開会式を前に、オープニングプログラムで盛り上がりました

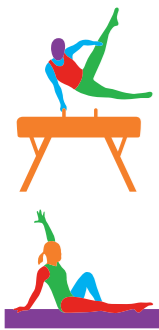


オープニングでボールを飛ばす演出では観客も一緒に参加



式典前の演技には、約1,800人が出演。色鮮やかな衣装を身につけたパフォーマー1,200人が、自転車のBMXやダンスなどでスポーツの魅力や楽しさを表現しました

体操(競技)



最終種目の着地を決め、歓喜する成年男子

9月5日～8日

SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

男女総合成績(天皇杯)1位:佐賀県、2位:大阪府、3位:千葉県(※)  
女子総合成績(皇后杯)1位:千葉県、2位:佐賀県、3位:福井県(※)  
体操(競技)成績1位:大阪府、2位:千葉県、3位:佐賀県 ※競技・新体操・トランポリンの合計点の順位

佐賀県勢は、成年男子が最初の種目の跳馬から終始安定して高得点を重ね、準優勝。今大会の県勢メダル獲得第1号となりました。そのほか、成年女子が4位、少年男子が5位に入賞を果たしました。新体操、トランポリンを合わせた「体操」としては、佐賀県は男女総合優勝、女子総合2位という素晴らしい成績を収めました。



準優勝の成年男子、4位入賞の成年女子



選手宣誓



大応援を味方につけて

●成年男子



中山怜選手(鉄棒)



藤戸勇之進選手(床)



上田直樹選手(つり輪)



小島廉生選手(あん馬)

●成年女子



井口佳玲選手(跳馬)



野口祐美賀選手(平均台)



田島やまぶき選手(平均台)



重松里歩選手(床)

●少年男子



5位入賞の少年男子



秋山謙次郎選手(つり輪)



瀬口寛太選手(あん馬)



小笠原春選手(平行棒)

●少年女子



決勝に進出した少年女子



今村志穂選手(平均台)



中本結菜選手(床)

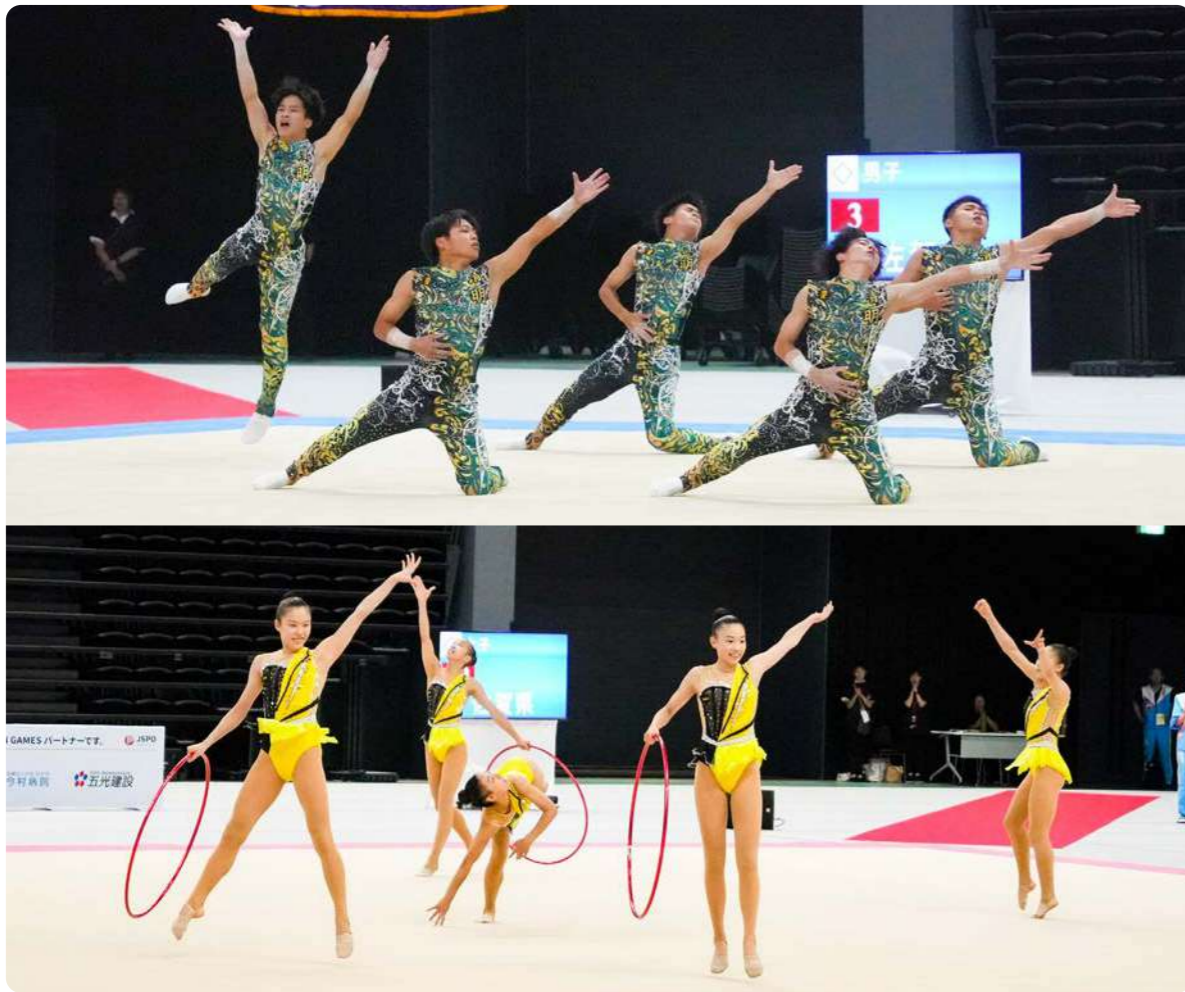


社家間音寧選手(跳馬)



中願寺沙亜耶選手(段違い平行棒)

体操(新体操)



9月23日~24日

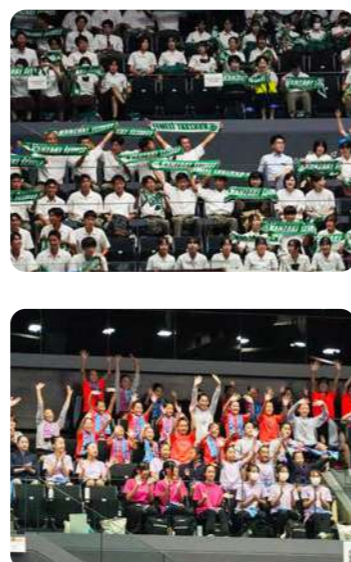
SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

体操(新体操)成績1位:佐賀県、2位:兵庫県・岡山県

今大会、少年男子種別が16年ぶりに復活しました。少年女子は23、少年男子は10都道府県が参加し、初日の個人競技、2日目の団体競技の合計得点で順位を競いました。佐賀県勢は男女とも初日を1位で折り返し、2日目に大声援を受けながら息の合った華麗な演技を見せ、見事そろって優勝を果たしました。



笑顔でメダルを掲げるアベック優勝の少年男女チーム



大歓声に包まれた観客席

●個人競技(少年男子・少年女子)



樋口諒選手(スティック)



阿部かん介選手(リング)



中尾迅選手(ロープ)



中田光乃介選手(クラブ)



山本莉子選手(フープ)



五嶋咲希選手(ボール)



兒島永奈選手(クラブ)



小鮎由菜選手(リボン)



客席から演技を見つめる応援団



ジャッジ



客席に手を振る選手たち

●団体競技(少年男子)



佐賀県チーム(中田光乃介選手・阿部かん介選手・米光悠大選手・中尾迅選手・樋口諒選手)

●団体競技(少年女子)



佐賀県チーム(山本莉子選手・五嶋咲希選手・兒島永奈選手・小鮎由菜選手・才川未愛選手)

体操(トランポリン)



9月12日

SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

体操(トランポリン)成績1位:静岡県、2位:北海道・東京都・鳥取県(7位:佐賀県)

女子は10、男子は9選手が出場し、予選の上位8選手が決勝へ進みました。佐賀県勢として唯一出場した女子の杉原玲奈選手は予選を5位で通過。決勝でも素晴らしい演技を見せ、4位に入賞しました。男子では静岡県の海野大透選手が大会2連覇を果たしました。



杉原玲奈選手と市川隆太コーチ



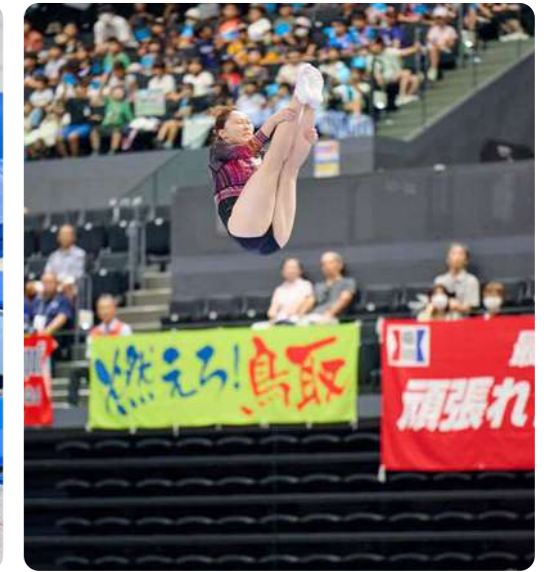
選手宣誓



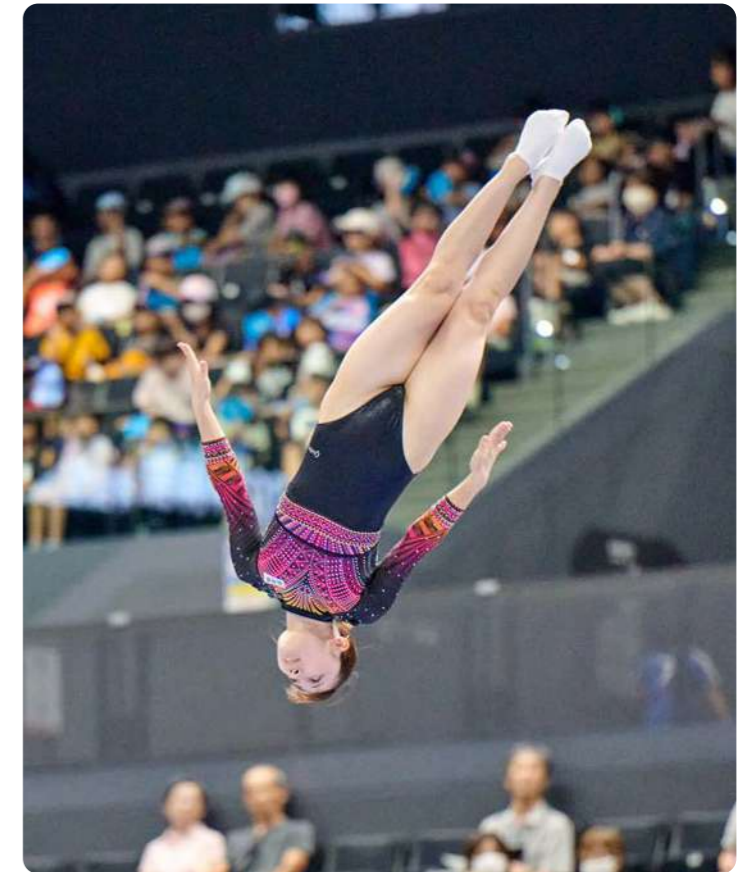
演技を見守る子どもたち



競技前に集中する杉原玲奈選手



足先まで伸ばし美しい姿勢を保つ



高い位置でひねりを入れる



大会2連覇を果たした海野大透選手



男女1位の選手に贈られた個人表彰



表彰を補助する競技補助員



少年男子B100m平泳ぎで中学新記録をマークした野中龍生選手

9月14日~16日

SAGAサンライズパーク SAGAアクア

男女総合成績(天皇杯) 1位:東京都、2位:神奈川県、3位:愛知県(18位:佐賀県)※  
 女子総合成績(皇后杯) 1位:東京都、2位:神奈川県、3位:埼玉県(20位:佐賀県ほか)※  
 水泳(競泳)成績 1位:東京都、2位:神奈川県、3位:埼玉県(23位:佐賀県)  
 ※競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング・オープンウォータースイミングの合計点の順位

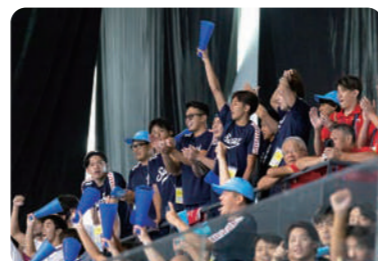
佐賀県勢は、個人種目では少年男子B100m平泳ぎの野中龍生選手が日本中学新記録で2位に入賞しました。そのほか、成年女子100m平泳ぎの岡田侑奈選手が4位、少年男子A50m自由形の渋谷琥玲亜選手が7位、少年男子A400m個人メドレーの市丸愛翔選手が8位、リレー種目では成年男子4×50mフリーリレーで7位に入賞しました。



会場のSAGAアクア



佐賀県代表による選手宣誓



仲間の応援



少年男子B100m平泳ぎで2位。鈴木大地日本水泳連盟会長から表彰を受ける野中龍生選手

男子	100m	平泳ぎ	少年B	59.76	NR
1	大橋中	信生		1:01.55	GR
2	龍生	大佐		1:00.29	GR
3	中崎	龍生		1:01.41	JR
4	宮内	龍生		1:02.50	
5	堀吉	龍生		1:03.00	
6	大今	龍生		1:03.35	
7	安田	龍生		1:03.61	
8		龍生		1:03.76	
		龍生		1:03.89	

新記録が表示された電光掲示板



渋谷琥玲亜選手(少年男子A50m自由形)



成年男子4×50mフリーリレー  
(伊藤裕馬、堀田和久、大森涼奨、柳本幸之介組)



成年男子4×50mフリーリレー



岡田侑奈選手(成年女子100m平泳ぎ)



市丸愛翔選手(少年男子A400m個人メドレー)



4×100mフリーリレーで一斉にスタートを切る選手たち



大橋悠依選手(滋賀県)



瀬戸大也選手(埼玉県)



競技役員



観客席の熱い応援



表彰を補助する競技補助員



着水まで2秒ほどの一瞬の演技

9月14日~16日

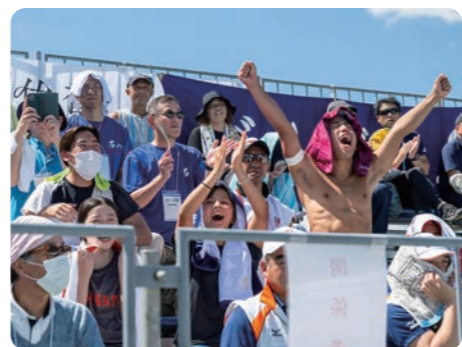
SAGAサンライズパーク SAGAアクア

水泳(飛込)成績1位:高知県、2位:茨城県、3位:兵庫県・佐賀県

佐賀県勢は、成年女子の荒井祭里選手が高飛込で安定した演技を見せ、見事頂点に立ちました。荒井選手は飛板飛込でも、接戦を制して3位に入賞し、表彰台に上がりました。少年男子では神田新選手が高飛込3位、飛板飛込6位入賞という成績を収めました。



入賞した荒井祭里選手、神田新選手と監督、トレーナー

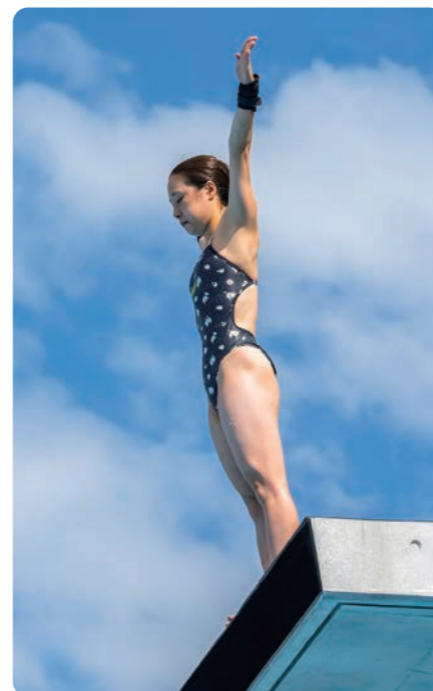


暑さに負けない大声援

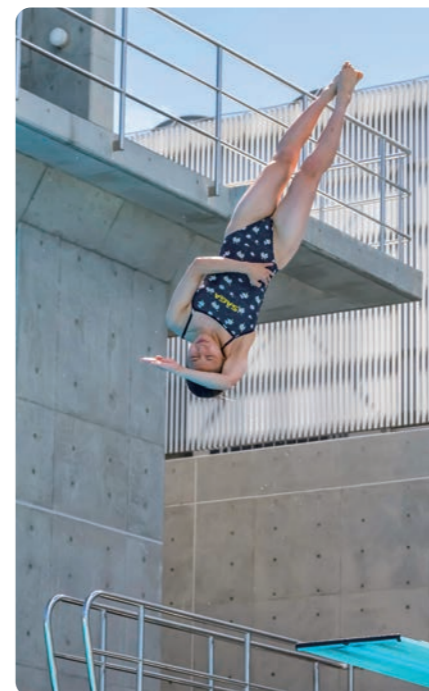


審判

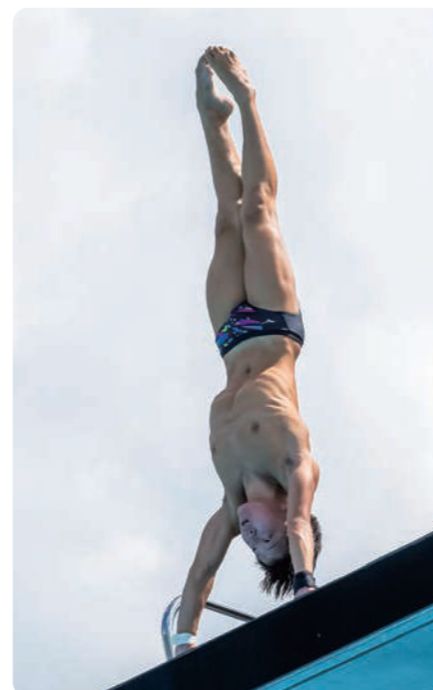
●成年女子



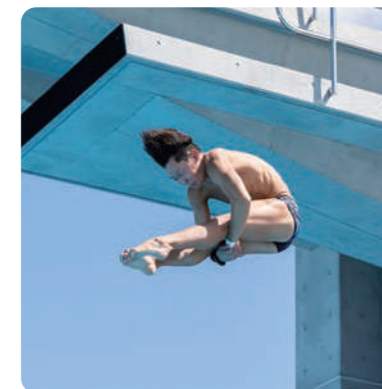
高飛込決勝、高得点で優勝した荒井祭里選手



●少年男子



高飛込で3位入賞の神田新選手



●エキシビション



思い思いのポーズで飛び込む選手たち

パフォーマンス後、笑顔を見せる選手たち



シュートを狙う少年男子の東島陽葵選手

9月9日~12日

SAGAサンライズパーク SAGAアクア

水泳(水球)成績1位:京都府、2位:千葉県、3位:山形県・東京都(14位:佐賀県ほか)

佐賀県勢は、少年男子が予選リーグで強豪の京都府(今大会優勝)、山口県相手に健闘するも惜敗し、決勝トーナメント進出はなりませんでした。女子は予選で千葉県(今大会優勝)などと同ブロックに入り、奮闘しましたが決勝トーナメント進出はなりませんでした。



会場のSAGAアクア



優勝した京都府(少年男子)



優勝した千葉県(女子)

●少年男子



佐賀県選手たち



シュートを決める



相手のシュートをブロックするGK百崎暖選手



得点し喜ぶ選手たち

●女子



ゴールめがけてシュートを放つ



GK丸山はな選手(左)



古川優里選手



田中優希選手



入水前にポーズを決める中村遥菜選手(右)と富田恵未選手

9月7日

SAGAサンライズパーク SAGAアクア

水泳(アーティスティックスイミング)成績1位:東京都、2位:愛知県、3位:大阪府(18位:佐賀県)

少年女子デュエットが行われ、テクニカルルーティンとフリールーティンの合計得点を競いました。佐賀県からは富田恵未選手、中村遥菜選手のペアが出場。テクニカルルーティンでは「ヴァイオリン」、フリールーティンでは「狼」をテーマに演技しました。入賞には届きませんでしたが、大きな声援を受けて全力を尽くしました。



佐賀県チーム(中村遥菜選手・富田恵未選手、監督、チームスタッフ)



1位~3位の選手たち



選手に拍手を送る観客

●テクニカルルーティン



息の合った演技を見せる中村遥菜選手と富田恵未選手



●フリールーティン



笑顔を絶やさず、キレのある手足の動きを披露した中村選手と富田選手



成年女子 舵手つきクォドルプル(有尾由菜・安井咲智・石垣優香・北村莉子・國元悠衣組)

9月14日~17日

佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場

男女総合成績(天皇杯)1位:福井県、2位:岐阜県、3位:東京都(11位:佐賀県)  
女子総合成績(皇后杯)1位:福井県、2位:岐阜県、3位:東京都(10位:佐賀県)

佐賀県勢は、成年女子が舵手つきクォドルプルで予選A組、準決勝B組を1位で通過して決勝へ進出。決勝では3連覇を狙う東京都などと接戦を繰り広げ、見事3位入賞を果たしました。成年男子は舵手つきフォアで予選A組を2位で通過。準決勝C組2位で5~8位決定戦へまわり、7位に入賞しました。



入賞した佐賀県選手



湖畔から応援



リギング広場

●成年男子



7位入賞した舵手つきフォア佐賀県チーム



小島発樹・石塚慎之助・今井東吉郎・直田拓巳・塩田義峰組(舵手つきフォア)



佐藤芳樹・齋藤拓馬組(ダブルスカル)



三浦友之選手(シングルスカル)

●成年女子



3位入賞した舵手つきクォドルプル佐賀県チーム



岡絵莉子・西山輝組(ダブルスカル)



山崎鈴夏選手(シングルスカル)

●少年男子



渡邊陽丞・小林碧人・梅川虎之助・畑山幹太・瀬戸真雄組(舵手つきクォドルプル)



川添遥斗・山浦琉博組(ダブルスカル)



清水優人選手(シングルスカル)

●少年女子



小野智祈望・山崎優愛・片山愛来・小出祐実・宮崎陽菜組(舵手つきクォドルプル)



北村真子・西彩水組(ダブルスカル)



佐伯友菜選手(シングルスカル)



PKを止める少年女子の松本こあ選手

9月21日～25日

SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム・セカスタ・ボールフィールド、  
佐賀市健康運動センターサッカー・ラグビー場

男女総合成績(天皇杯)1位:広島県、2位:佐賀県、3位:埼玉県  
女子総合成績(皇后杯)1位:広島県、2位:静岡県、3位:大阪府(8位:佐賀県ほか)

鳥栖市と共同で開催し、佐賀市では成年女子・少年女子種別を開催しました。佐賀県勢は、少年女子が北海道との1回戦をPK戦で勝利し、準々決勝へ。静岡県(今大会優勝)が立ち上がり準決勝へは進めませんでした。成年女子は1回戦で愛媛県と対戦。前半を0対0で折り返しますが後半にゴールを許し、準々決勝進出はなりません。



喜びを分かちあう静岡県選手(少年女子優勝)



優勝が決まり嬉しさがあふれる広島県選手(成年女子)



場内アナウンスをする競技補助員

●成年女子



いざ出陣!



ボールをキープし前へ切り込む



ヘディングする松崎こころ選手



力強く攻め入る佐賀県勢



ゴールを死守するGK辻明日香選手

●少年女子



勝利に喜ぶ佐賀県チーム



キーパーをかわしゴールを決める鶴美空選手



小池唯月選手



宮口莉乃選手



表彰式(5位入賞)



5位入賞が決まり歓喜する成年女子

9月21日～24日

SAGAサンライズパーク テニスフィールド、佐賀県立森林公園テニスコート

男女総合成績(天皇杯)1位:東京都、2位:大阪府・岡山県(14位:佐賀県ほか)  
女子総合成績(皇后杯)1位:大阪府、2位:栃木県・岡山県(8位:佐賀県ほか)

佐賀県勢は、成年女子の大前綾希子選手、緒方葉台子選手ペアが1・2回戦を突破。準々決勝で栃木県に競り負けましたが、順位決定戦に勝利し、5位入賞を果たしました。成年男子は1回戦で福岡県にストレート勝ちするも2回戦で島根県に惜敗し、準々決勝進出はなりません。少年男子、少年女子は初戦敗退となりましたが、闘志あふれるプレーで地元の観客を魅了しました。



善戦した佐賀県チーム



声援を送る観客



小学生もみんなで応援

●成年男子



吉村大生選手



伊藤竜馬選手

●成年女子



ダブルス大前・緒方ペア



大前綾希子選手



緒方葉台子選手

●少年男子



諸隈開選手



福永真大選手

●少年女子



田嶋愛由奈選手



草場椎奈選手



9月26日～29日

佐賀県射撃研修センター

男女総合成績(天皇杯)1位:東京都、2位:埼玉県、3位:北海道(12位:佐賀県ほか)

隔年開催とコロナ禍の影響で5年ぶりの開催となったクレー射撃。佐賀県勢は、スキート個人で脇屋昂選手が4ラウンドとも安定して得点を重ね8位入賞。井本太輔選手と臨んだスキート団体でも8位に入賞しました。トラップは、個人で弥永浩選手が10位、小池誠志選手が56位、団体で11位と入賞には届きませんでした。



スキート団体で8位入賞した佐賀県チーム



静かに見守る観客

●スキート



井本太輔選手



笑顔でグータッチ



脇屋昂選手



●トラップ



小池誠志選手



弥永浩選手



狙いを定める三宮規史選手

9月28日～30日

佐賀県警察学校

男女総合成績(天皇杯)1位:滋賀県、2位:岐阜県、3位:徳島県(7位:佐賀県)  
女子総合成績(皇后杯)1位:岐阜県、2位:滋賀県、3位:徳島県(5位:佐賀県)

佐賀県の三宮規史選手は25mセンター・ファイア・ピストル男子60発(CFP60)で10位、同30発(CFP30)で15位と、惜しくも入賞にはあと一步届きませんでした。CFP60で優勝した松本洋選手(愛知県)は大会5連覇を達成しました。



会場(佐賀県警察学校射撃場)



競技を終えた選手たちの集合写真



集中力を高めて



標的に向かう三宮規史選手



今大会で選手を引退する三宮選手を仲間たちが胴上げ



射撃場内観覧席



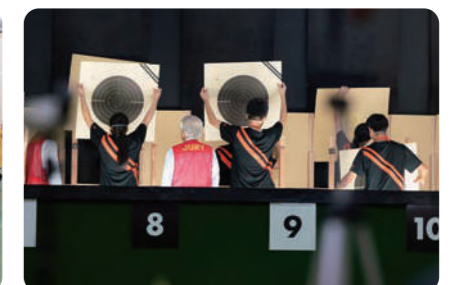
競技について分かりやすく説明する競技役員



場外観覧席は満席に



ピストル体験コーナーは大人気



標的を交換する競技補助員



相手ディフェンスの突破を図る宮上廉選手(成年男子)

10月6日～10日

SAGAサンライズパーク ボールフィールド

男女総合成績(天皇杯) 1位:佐賀県、2位:奈良県、3位:東京都  
女子総合成績(皇后杯) 1位:福岡県、2位:山口県、3位:三重県(6位:佐賀県)

佐賀県勢は、成年男子が予選を無失点で通過。決勝トーナメントでも圧倒的な強さを見せ、10年ぶり2度目の優勝を果たしました。女子は予選を突破して決勝トーナメントへ進むも1回戦で敗戦。順位決定戦にまわり、6位に入賞しました。少年男子は初戦を完封勝利し、準決勝で奈良県と対戦しました。惜しくも勝利とはなりませんでしたが3位に入賞し、成年男子、女子をあわせて男女総合優勝の栄冠に輝きました。



佐賀県選手団(成年男子)



男女総合1位を獲得した佐賀県チーム



佐賀県選手団(少年男子)

●成年男子(7人制)



佐賀県チームのアタック



成年男子最優秀選手賞(MOM)を受賞した副島亀里ララポウラティアナラ選手



スクラムから出たマイボール



ノーサイド

●女子(7人制)



佐賀工業高校を卒業した選手と現役選手で構成された女子チームは、5位・6位決定戦で敗退したものの、県勢女子で過去最高の6位に入った



●少年男子(15人制)



佐賀工業高校メンバーが大奮闘した少年男子は、準決勝まで勝ち進み、3位の成績を残した





勝利を呼び込むバックアタック

10月6日～9日

SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

男女総合成績(天皇杯)1位:東京都、2位:岡山県、3位:愛媛県(4位:佐賀県)※  
女子総合成績(皇后杯)1位:岡山県、2位:東京都、3位:愛媛県(4位:佐賀県)※  
※バレーボール(6人制)・ビーチバレーボールの合計点の順位

5市町が共同で開催し、佐賀市では成年女子種別を開催しました。佐賀県は準々決勝から登場し、準決勝、決勝と危なげなく駒を進めました。決勝では岡山県相手にストレート勝ちし、初戦から1セットも落とすことなく見事大会連覇を果たしました。



大会連覇を果たした佐賀県チーム



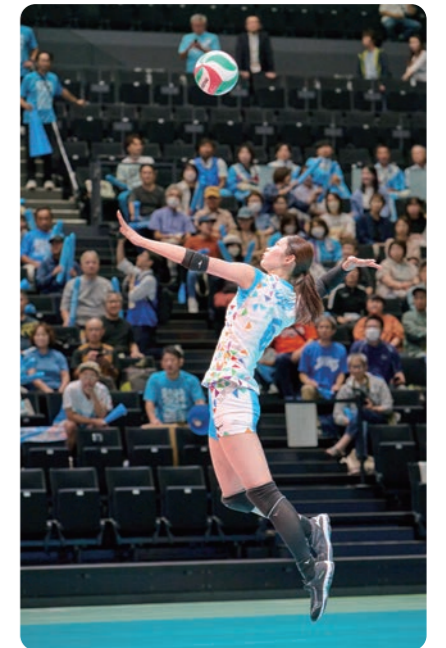
熱の入った応援



笑顔で声援を送る小学生



好プレーに歓喜する選手たち



ジャンピングサーブ



相手チームを翻弄するトスワーク



ベンチも一体となって盛り上がる



勝利を喜ぶ佐賀県チーム



正確なラインジャッジを行う競技補助員



古田育男選手(左)

10月7日~10日

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

男女総合成績(天皇杯)1位:東京都・京都府、3位:岐阜県(5位:佐賀県ほか)  
女子総合成績(皇后杯)1位:東京都・京都府、3位:佐賀県

佐賀県勢は、成年女子がサーブルで1回戦から準決勝まで危なげなく勝利し、決勝進出。決勝でも東京都相手にストレート勝ちを収め、見事初優勝を果たしました。また成年女子はフルーレでも7位に入賞したほか、少年女子はフルーレで6位、成年男子はエペで8位に入賞しました。



笑顔で大会を終えた佐賀県選手たち



会場のSAGAプラザ



応援席も盛り上がる

●成年男子



伊藤心選手(左)



古田育男選手(左)



齊藤憲司選手(中央)



佐賀県チーム

●成年女子



雨田由香選手(右)



佐野佑衣選手(右)



高嶋理沙選手(左)

●少年男子



岩永陸椰選手(左)



中山太陽選手(右)



熱烈声援

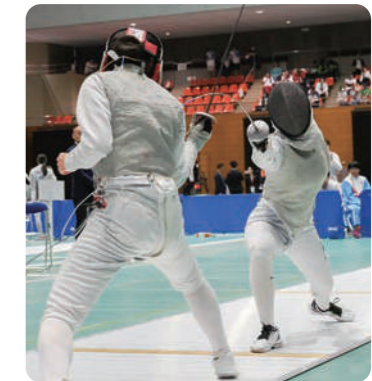
●少年女子



フルーレで6位入賞した佐賀県チーム



一ノ瀬桜選手(右)



久家なつめ選手(右)



伊勢川華愛選手

10月7日~11日

ボウルアーガス

男女総合成績(天皇杯)1位:熊本県、2位:神奈川県、3位:佐賀県  
女子総合成績(皇后杯)1位:神奈川県、2位:佐賀県・京都府

佐賀県勢は、成年女子が団体戦(2人チーム戦)でAチームが3位、Bチームが7位と、そろって入賞。団体戦(4人チーム戦)でも3位に入賞しました。そのほか、成年男子が団体戦(4人チーム戦)で4位、団体戦(2人チーム戦)で6位に入賞し、男女総合成績で3位を獲得しました。



会場のボウルアーガス



たくさんの応援を受けて



メダルを首にかけ笑顔の成年女子チーム

●成年男子



野田賢一朗選手



村濱裕紀選手



西島本有生選手



枝吉誠選手



成年男子チーム

●成年女子



笠原裕奈選手



伊勢川華愛選手



中島望結選手



鈴木波流選手



成年女子チーム

●少年男子



笠原裕惺選手

●少年女子



奥野結莉選手



田中輝琉選手



小野しおり選手



少年女子カヤックシングルで2冠を達成した花岡選手

10月11日~14日

佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場

男女総合成績(天皇杯)1位:滋賀県、2位:島根県、3位:佐賀県(※)  
女子総合成績(皇后杯)1位:佐賀県、2位:宮崎県、3位:兵庫県(※)  
※スプリント、スラローム・ワールドウォーターの合計点の順位

佐賀県勢は、少年女子カヤックシングルの花岡ゆらら選手が500mと200mの2冠を達成しました。そのほか、成年男子カヤックシングルの中政弥選手が500mで2位、カナディアンシングルの佐藤光選手が500mで2位、少年男子カナディアンシングルの峯佳生選手が500mで2位に入賞を果たすなど、各選手が健闘しました。



好成績を残した佐賀県勢



選手宣誓



湖畔から応援

●成年男子



田中政弥選手(カヤックシングル)



佐藤光選手(カナディアンシングル)

●少年男子



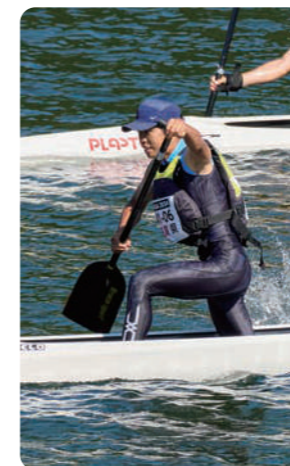
田島奈龍・築山侑人・西田勇次郎・金ヶ江聖諭組(カヤックフォア)



大石誠也・笹川真吾組(カナディアンペア)



山中環汰選手  
(カヤックシングル)



峯佳生選手  
(カナディアンシングル)



森田正衣斗・井手上貴一組  
(カヤックペア)

●成年女子



前田七海選手(カナディアンシングル)

●少年女子



花岡ゆらら選手(カヤックシングル)



入嶋遥愛・元石暖華組(カヤックペア)



成年男子110mハードル2位の横地大雅選手(腰ナンバー4)

10月11日~15日

SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム

男女総合成績(天皇杯)1位:京都府、2位:大阪府、3位:千葉県(11位:佐賀県)  
女子総合成績(皇后杯)1位:大阪府、2位:京都府、3位:福岡県(24位:佐賀県ほか)

佐賀県勢は、今泉堅貴選手が成年男子300m予選で日本記録と大会記録を更新。続く決勝でも快走を見せ、優勝を飾りました。また、成年男子800mで優勝した岡村颯太選手は決勝で大会新記録をマークしました。そのほか、成年男子110mハードルの横地大雅選手、同3000m障害の西久保遼選手、成年女子やり投の武本紗栄選手がそれぞれ2位に入賞。少年男子A300mの松本悠斗選手、成年少年男女混合4×100mリレーの3位のほか、5人が入賞するなど、各選手が健闘しました。



成年男子300m優勝の今泉堅貴選手は予選で日本新記録を樹立



室伏広治スポーツ庁長官も観戦



トップレベルの選手の走りに大興奮の子どもたち



成年男子800mを大会新記録で制した岡村颯太選手



成年男子3000m障害2位の西久保遼選手(中央)



中島颯太選手(少年男子800m7位)



少年男子A300m3位の松本悠斗選手(右)



武本紗栄選手(成年女子やり投2位)



3位入賞の成年少年男女混合4×100mリレー



尾山和華選手(成年女子砲丸投5位)



林奈海選手(成年女子5000m競歩8位)



成年女子ハンマー投6位の高橋沙湖選手



久保山晴菜選手(成年女子300m7位)



砂場を整備する競技役員(右)と競技補助員(左)



表彰式の準備をする競技補助員



ゴール後の選手をドリンクで労う



優勝を決めたウルフ・アロン選手の払腰

10月12日～14日

SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

男女総合成績(天皇杯)1位:東京都、2位:神奈川県、3位:福岡県(4位:佐賀県)  
女子総合成績(皇后杯)1位:東京都、2位:滋賀県、3位:福岡県(5位:佐賀県ほか)

佐賀県勢は、成年男子が2回戦から準々決勝、準決勝と勝ち進み、茨城県との決勝戦へ。先鋒から中堅まで引き分けが続く緊迫した試合展開の中、副将のウルフ選手が払腰で一本勝ちを収め、会場を沸かせました。この一本が決め手となり、初優勝を飾りました。女子は今大会優勝の東京都に敗れましたが5位入賞。少年男子は3回戦で敗れ、準々決勝進出はなりませんでした。



会場のSAGAアリーナ



勝利に沸く観客席



畳を清掃する競技補助員

●成人男子



優勝した成年男子チーム(後列左から、小畑大樹選手・ウルフ・アロン選手・松雪直斗選手・田中龍雅選手・近藤隼斗選手)



内股で一本をとる田中龍雅選手(上)



円陣を組んで気合いを入れる選手



毎試合安定していた近藤隼斗選手(左)



豪快な投げ技で攻める小畑大樹選手(右)

●女子



5位入賞の女子チーム



激しく攻める清水優陸選手(右)



果敢に立ち向かう橋口菜央選手(右)

●少年男子



組み手を争う池田快選手(右)



積極的に仕掛ける野中颯汰選手(左)



整列する少年男子チーム



6回裏、反撃ののろしを上げるホームイン

10月6日～7日、9日 ※7日は雨天のため8日に順延。

さがみどりの森球場

1位:明德義塾(高知県)、2位:小松大谷(石川県)、3位:関東第一(東京都)・京都国際(京都府)

スタンドを埋め尽くすほどの高校野球ファンを集め、夏の甲子園を沸かせた8チームが熱戦を繰り広げました。佐賀県代表の有田工業は地元の熱い応援を受け、小松大谷(石川県)と対戦。5回までリードを許す苦しい展開の中、6回に4-3と一時逆転するも終盤に力尽き、惜しくも4-8で敗れました。



会場のさがみどりの森球場



表彰式



1位の明德義塾(高知県)の選手



タッチをかくぐりホームを狙う



先発して力投する鷲尾欧介選手



4打数3安打と奮闘した3番打者の丸田真太郎選手



6回裏に逆転し盛り上がる有田工ベンチ



好送球で進塁を阻止



堅い守りを見せる川尻泰翔選手



チームタオルを掲げる有田工応援団

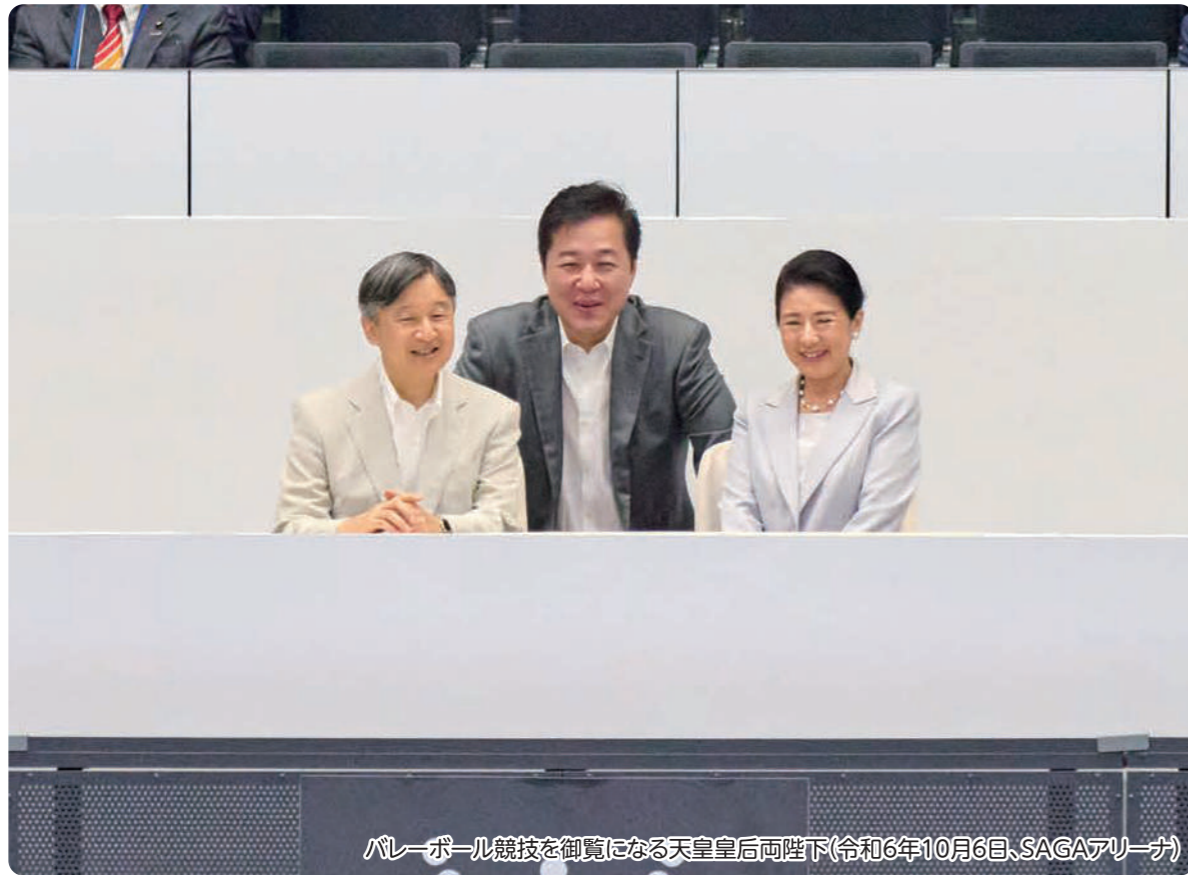


熱い声援を送る有田工応援団



一進一退の攻防を見守る観客

行幸啓・お成り



バレーボール競技を御覧になる天皇皇后両陛下(令和6年10月6日、SAGAアリーナ)

天皇皇后両陛下の総合開会式への御臨席や、愛子内親王殿下の陸上競技・柔道競技御覧をはじめ、皇室の方々が本市を御訪問され、市内で開催された式典や競技を御覧になったほか、市内施設を御視察されました。



バレーボール競技御覧のため会場入りされた天皇皇后両陛下(10月6日、SAGAアリーナ)



ロイヤルボックスへ移動される天皇皇后両陛下(10月6日、SAGAアリーナ)



柔道競技御覧のため会場入りされた愛子内親王殿下(10月12日、SAGAアリーナ)



柔道競技で、アリーナセンターハンギビジョンに映る選手を御覧になる愛子内親王殿下(10月12日、SAGAアリーナ)



手すき体験をされる愛子内親王殿下(10月12日、名尾手すき和紙)  
佐賀県提供



陸上競技選手に拍手を送られる佳子内親王殿下(10月15日、SAGAスタジアム)



ラグビーフットボール競技御覧のため会場入りされた彬子女王殿下(10月10日、SAGAサンライズパーク ポールフィールド)



さき織りを体験される佳子内親王殿下(10月15日、佐賀県立ろう学校)  
佐賀県提供



坂井市長に出迎えられ、フェンシング競技御覧のため会場入りされた高円宮妃殿下(10月10日、SAGAプラザ)



陸上競技を御覧になる寛仁親王妃信子殿下(10月14日、SAGAスタジアム)



佐賀の特産品詰め合わせ

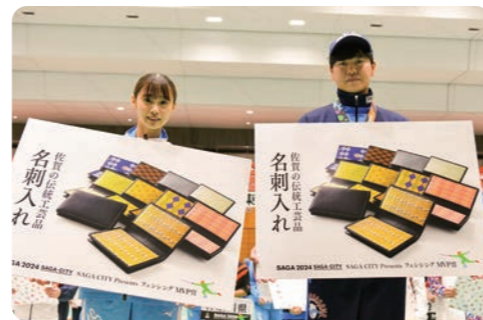
SAGA2024は「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に名称が変わる最初の大会です。新しい大会として、これまでになかった取り組みに挑戦しました。

●個人表彰

SAGA2024では、初めて選手個人の活躍にスポットを当てた表彰制度が創設されました。競技ごとに設定した表彰基準から活躍した選手個人を選出し、本市の魅力ある特産品を副賞として贈呈しました。



佐賀牛



佐賀錦



肥前びーどろ

●ナイトゲーム

平日の仕事帰りにもアルコールや軽食を楽しみながらスポーツを観戦できるという、新しい国スポの楽しみ方です。事前申し込みした人に佐賀市オリジナルの応援ユニフォームを、来場者に応援グッズを配布しました。



静岡県と富山県の対戦はフルセットまでもつれ込む接戦に



飲食を楽しみながら観戦



売店には長蛇の列



応援ユニフォームの配布



ブルーの応援グッズを持って、さあ応援!

# 学校観戦



みんなで楽しく観戦しました

子どもたちの大きな声援や拍手は選手たちのプレーを後押しし、会場を盛り上げました。

全国から訪れるトップアスリートの競技を間近で観戦することにより、スポーツへの関心を高めるとともに、夢や希望を持つきっかけとするため、市内約11,000人の児童・生徒が競技を観戦しました。



いざ競技会場へ「いってきま〜す!」



佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場



SAGAアリーナでは体操や柔道、バレーボールの3競技を観戦しました



SAGAアクアでは水球を観戦。初めて見る競技にワクワク



SAGAプラザではフェンシングを応援



SAGAスタジアムでは陸上競技を観戦

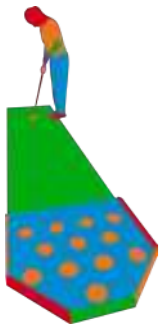


SAGAサンライズパーク テニスフィールド



佐賀市オリジナルの応援うちわ

# スカットボール



入るかな?

7月7日

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

デモンストレーションスポーツ

スタートラインからボールをスティックで打ってスカット台の得点穴に入れるゲームです。2人が交互に打って得点を競います。120人が参加し、世代を超えた熱く、笑顔あふれるゲームが繰り広げられました。



ボールの行方にくぎ付け

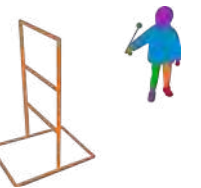


ボールが穴に入ると大盛り上がり!



狙うは5点の穴

# ラダーゲッター



いけー!

7月7日

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

デモンストレーションスポーツ

両端にボールがついたひもを5m離れたラダーに1人ずつ投げ、3段すべてにひもをかけられるまでのタイムを競います。家族や友達などでチームを組んだ80人が参加しました。投げたひもの行方に一喜一憂しながら、楽しくプレーしました。



一番下を狙って...



大人も子どもも楽しみました



3段全部にかけられたらダッシュ!



目指せ最高記録!

7月7日

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

デモンストレーションスポーツ

長さ10mのロープを3人以上で跳び、「跳ぶ人数×回数」で得点を競う大縄跳びです。小学生、中学生、大学生、一般の幅広い世代から83人が参加しました。どのチームも声を掛け合って高得点を目指していて、成績に関係なく笑顔で大会を終えました。



息を合わせて回す



ロープをよく見て…



せーのっ!



最高齢参加者の演武

7月14日

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

デモンストレーションスポーツ

技をかける「取り」と技を受ける「受け」で演武を行います。立ち技、半身半立技、座り技があり、さらに剣、杖、短剣などを用いる武器技があります。県内の道場から57人が参加し、休憩中には恒例となっている居合演武が行われました。



観客が見守る中、演武を披露



剣を向けられても冷静に



相手が2人でもこの通り





大自然の中楽しみました

7月28日

神水川パークゴルフ場

デモンストレーションスポーツ

芝で覆われたコースで、クラブでボールを打ち、カップインするまでの打数を競います。厳しい暑さでしたが、選手は休息と水分補給をしながらプレーに集中しました。参加した88人は互いに交流を深め、大会は和やかに進みました。



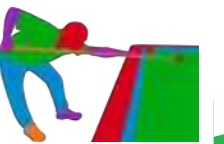
1打目が大切



ボールがカップに吸い込まれていく



見事カップイン!



狙いを定めて...

8月4日

ビリヤードsession

デモンストレーションスポーツ

布を張った長方形のテーブル上で、「キュー」と呼ばれる長い棒で手球をつき、1~9の番号が付いた的球に当てて動きをコントロールし、先に9番のボールをポケットインする「ナインボール」で勝敗を競いました。ビリヤードファン23人が参加し、普段の大会とはまた違った雰囲気、和気あいあいと進行しました。



観客にも伝わる緊張感



滑り止めのチョークを塗る



ジャンプショットを狙う



47都道府県の旗が会場で舞い、ダンサーらと協演し「スポーツのチカラ」を表現した

## 第78回国民スポーツ大会 「SAGA2024国スポ」総合閉会式

10月15日・SAGAアリーナ

会期前と本会期の合わせて35日間にわたり、全国から選手や観覧者ら約50万人が参加しました。男女総合成績(天皇杯)と女子総合成績(皇后杯)は、いずれも東京都が優勝。佐賀県は、天皇杯が140点差の2,332点、皇后杯が83点差の1,204点とともに2位でした。



佐賀県提供

佳子内親王殿下による天皇杯皇后杯授与



成績発表・表彰状授与



炬火分火・納火



熱戦を終えた選手たちが晴れやかに入場



都道府県旗儀礼



室伏スポーツ庁長官のあいさつ



大会を振り返る映像や音楽とともに、47都道府県の旗が会場で舞い、ダンサーらと協演し「スポーツのチカラ」を表現しました。県内の高校生や大学生ら総勢100人が、旗手から旗を受け取り演技するフラッグパーフォーマーや、ダンサーとして閉会式を華やかに演出しました



高校生からインタビューを受ける  
ローイング競技の石塚慎之助選手



高校生・大学生・社会人38人によるパフォーマンス



佐賀県から滋賀県へ国スポ旗引継



思い思いのポーズでピクトグラムと記念撮影



**SAGA**  
**2024**  
国スポ・全障スポ  
**SAGA-CITY**

写真編【全障スポ】



佐賀県選手団の入場

## 第23回全国障害者スポーツ大会 「SAGA2024全障スポ」開会式

10月26日・SAGAスタジアム

大会には各都道府県と20政令指定都市の選手・役員ら約6,000人が参加、開会式には選手団や大会関係者、観覧者ら約1万2400人が参加しました。2001年に全国身体障害者スポーツ大会と全国知的障害者スポーツ大会が統合されてからは、佐賀県では初めての開催です。雨の中のオープニングプログラムでしたが、選手団入場では雨が上がり、パフォーマーらが迎える中、国スポ同様のパレード形式で入場しました。



秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席



大河内健太選手が炬火台に点火



佐賀県代表による宣誓  
森山大樹選手(左)と長恵美子選手(右)



会場が一体となり開会式のオープニングプログラムを楽しみました



パフォーマーの元気なダンスがオープニングを彩りました



副島梨々香選手から草場涼太選手にバトンパス(4×100mリレー優勝)

10月26日～28日

SAGAサンライズパーク SAGAスタジアム

佐賀県勢は、深町由美子選手がスラロームと50mの2種目をいずれも大会新記録で優勝するなど、各選手の活躍が光り、計18個の金メダルを獲得しました。



友田正幸選手と伴走者の吉原一徳さん(800m・1500m)



内田勝也選手(ビーンバッグ投・スラローム優勝)



深町由美子選手  
(スラローム・50m優勝)



下村朋孝選手  
(ソフトボール投・砲丸投優勝)



大川内健太選手(800m・  
4×100mリレー優勝)



坂本照彦選手(立幅跳2位)





平山珠理選手(50m自由形優勝)

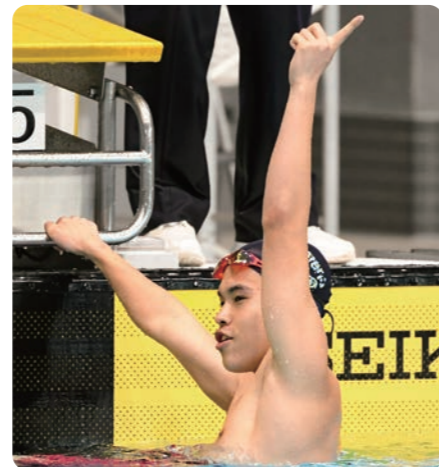
10月26~28日

SAGAサンライズパーク SAGAアクア

佐賀県勢は、島淵勝選手が25m自由形と25mバタフライの2種目で優勝(うちバタフライは大会新記録)、森山大樹選手が25mバタフライと50mバタフライで優勝(うち50mは大会新記録)するなど、計14個金メダルを獲得しました。



中村莞乃・大原嶺・森山大樹・坪井夢輝組(4×50mメドレーリレー2位)



森山大樹選手(25mバタフライ・50mバタフライ優勝)



木村亜紀選手(25m自由形・同平泳ぎ優勝)



津上和也選手(50m背泳ぎ優勝)



山崎富美子選手(25m平泳ぎ・同バタフライ優勝)



得点し喜ぶ佐賀県チーム(男子)

10月26~27日

SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

バレーボールは県内3会場で開催され、佐賀市では身体(聴覚)の区分の熱戦が繰り広げられました。佐賀県勢は、男子は鳥取県、女子は徳島県と対戦。1回戦突破とはなりませんでした。地元開催の晴れ舞台で各選手が躍動しました。



観客席からの声援に応える佐賀県チーム(男子)



ボウリング 知的



県勢最高得点で少年男子2位の長岡希空選手

10月26～27日

ボウルアーガス

佐賀県勢は、梅崎順子選手、園田周平選手、福島順二選手が優勝し、計3個の金メダルを獲得しました。選手たちは、同じレーンの選手たちと互いの投球をたたえ合いながらプレーしました。



笑顔で記念撮影する佐賀県チーム



梅崎順子選手(壮年女子優勝)



園田周平選手(壮年男子優勝)



福島順二選手(壮年男子優勝)



吉岡洋一選手(青年男子)

ソーシャルフットボール



4月13日～14日

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ

オープン競技

「ソーシャルフットボール」の名称は、年齢・性別・人種・貧困・家庭環境・障がいなど、あらゆる違いに対し、サッカーを通じた社会連帯で対処しようとするイタリアの取り組み、calciosociale(英訳 social football)に由来します。全国から10チームが参加し、九州・沖縄地区代表として佐賀県からStrahlSAGAが出場しました。





4月14日

SAGAサンライズパーク SAGAアリーナ

オープン競技

障がいがあっても、怖がらずに笑顔でプレーできるように、非接触(ボールを取りにいかない)というルールが導入されており、全ての人々が安全にサッカーを楽しめるように工夫されています。全国から8チームが参加し、佐賀県から出場したかわそえシニアとクラブ佐賀が3位に入賞しました。



イメージソングにあわせてダンス

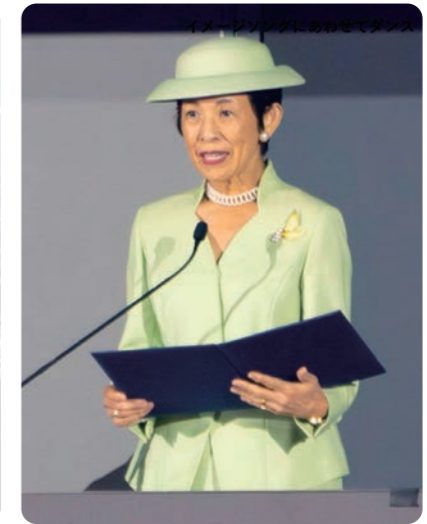
## 第23回全国障害者スポーツ大会 「SAGA2024全障スポ」閉会式

10月28日・SAGAアリーナ

国スポから引き継がれた炬火は、大型ビジョンに映し出され、参加者が見守る中、静かに納火されました。「すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げた大会では、佐賀県内の11市町を舞台に全国から約6,000人の選手団が参加しました。434人が出場した佐賀県勢は、過去最高の金47個、銀40個、銅46個の計133個のメダルを獲得しました。



都道府県と政令指定都市の67選手団や大会関係者ら約9,600人が参加



高円宮妃殿下の御臨席



手話で閉会宣言する坂井市長

**SAGA  
2024**  
国スポ・全障スポ  
**SAGA-CITY**

SAGA2024国スポ・全障スポ 佐賀市大会報告書  
令和7年2月発行

- 編集・発行 SAGA2024佐賀市実行委員会
- 製作・印刷 株式会社コミュニティジャーナル

※この報告書と附属DVDに収録されている記事、画像などのコンテンツの著作権は、  
SAGA2024佐賀市実行委員会および当該情報提供者にありますので、無断での使用はできません。  
※掲載内容(所属団体、役職名等)は当時のものです。



SAGA2024佐賀市実行委員会